



松本 一二美 議員

Q. 命を守る防災対策を

A. 指定避難所対策は 繰り上げて実施する

問

防災担当副町長誕生で一層の防災・減災に期待し、提案要望するが見解は。

① 津波の見える化で海抜表示の推進を。

② 指定避難場所の非構造部材の対策強化の現状は。

③ 折りたたみ式リヤカーの配備と補助制度導入を。

④ 一定の部屋だけ耐震リフォーム推進を。

⑤ 要援護者避難登録の推進を。

答

防災担当副町長

① 現在は5ヶ所に表示

② 今後の設置場所は、防災対策会議での意見を反映させる。

③ 特別危ないところは2年繰り上げ、今年度実施し、平成27年度までにはすべて終了する。

④ 保育所は乳母車で対応できる。助成制度は、防災対策会議での意見を反映させる。

⑤ 平成24年度より補助



避難所の安全を守ってね

問 ジェネリック推進で医療費の抑制を

の対象としている。制度の普及啓発に努める。

⑤ 現在の登録者は約6百名。今後、仕組みを整備し災害時に早く安全に避難・救助ができれば体制を検討する。

製薬会社が開発した医薬品の特許が切れた後に別のメーカーが同じ有効成分で作る医薬品(ジェネリック)は、新薬の2〜7割の値段。本人負担軽減と、町の医療費の抑制に繋がる。積極的な取り組みを要望するが見解は。

答 使用促進・普及啓発に努めている
保険課長

国民健康保険の被保険者には、ジェネリック医薬品希望カードつきのパンフレットを、保険証と一緒に送付している。本年度から、一定の自己負担の軽減が見込まれる方に対し、軽減可能額通知を送付する準備をしている。

問 松前町ホームページの改革について

情報提供側としての管理と、更新がいまひとつ徹底されていない。知りたい情報が検索しやすく、高齢者や障がい者にも使いやすい画期的な画面作りを要望するが考えは。

答 苦情や意見は聞かない
企画財政課長

平成22年1月に全面的リニューアルを行った。情報更新は各所管課が

随時更新し的確な情報をタイムリーに発信している。近隣市町のホームページと比較しても、画面構成や機能に遜色はないと考える。

リニューアル以降、特に苦情とか利用に関する意見はない。

問 環境衛生管理の基本姿勢は

恵久美の排水路改修は、要望しても進展が無い。環境衛生管理の責任者として町の基本姿勢を伺う。

答 緊急性を考慮し、順次実施する
まちづくり課長

町ではさまざまな事業要望がある中で、緊急性の高いものから順次事業を実施している。

当水路は地元から要望が提出され、水路改修が必要と考えている。今後、財政事情を見ながら事業を実施していく。

